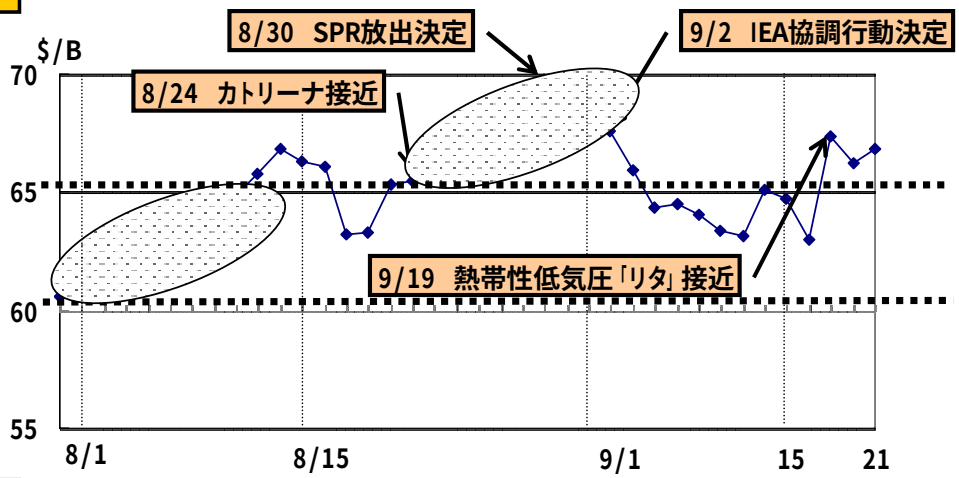
2005(H17).9.22
石油連盟

最近の原油価格高騰の背景について

Ⅰ．WTI価格推移



Ⅱ．価格高騰の要因

原油需給

需要は堅調に拡大

<需給バランス>

(百万BD)

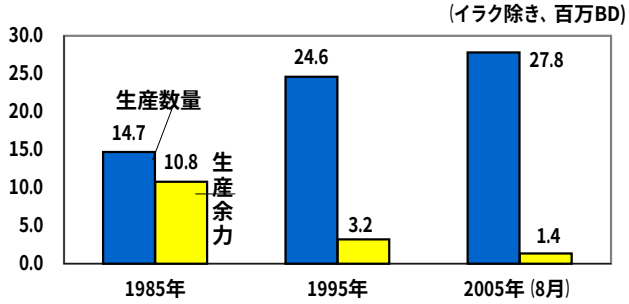
	2004 CY	2005 3Q	2005 4Q	2005 CY
世界需要	82.1	82.6	85.6	83.5
(前年比)	+3.7%	+1.2%	+2.1%	+1.6%
米国	+3.5%	+1.0%	+1.2%	+0.9%
中国	+15.2%	+4.7%	+6.4%	+3.4%
インド	+4.9%	+0.0%	+3.1%	+0.0%
日本	▲2.7%	▲1.6%	+1.3%	+0.9%
供給	83.1	84.7	86.4	84.8
在庫変動	+1.0	+2.1	+0.8	+1.3

OPEC生産余力

生産余力が著しく減少し、供給面における不安が増大

<OPEC生産数量・生産余力推移>

(イラク除き、百万BD)



ハリケーン「カトリーナ」影響

徐々に回復しつつあるが、未だに一部の設備が停止中

<米国設備停止状況>

	9月3日時点	徐々に回復	9月19日現在
原油生産設備 (全米生産量比)	120万BD (15%)		84万BD (11%)
製油所 (全米精製能力比)	8ヵ所 180万BD (11%)		4ヵ所 90万BD (5%)
パイプライン (コロニアルパイプライン)	輸送量減少		通常運転

投機資金の動き

ハリケーン「カトリーナ」の影響により、買い越しが増加したが、SPR放出・IEA協調行動等を受けて、売り越しに転化

<NYMEX先物取引状況>

2004 9月末	10月末	11月末	12月末	2005 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9/6	9/13
万枚	万枚	万枚	万枚	万枚	万枚	万枚	万枚	万枚	万枚	万枚	万枚	万枚	万枚
3.3 ↘	2.1 ↘	0.6 ↘	0.5 ↗	3.4 ↗	5.4 ↗	7.4 ↘	2.6 ↘	▲1.7 ↗	2.2 ↘	1.2 ↗	1.9 ↗	2.4 ↘	-0.8
		<昨年のボトム>											